

おひつ 議会だより

No. 109

2023・5
(令和5年)

小学校卒業証書授与式



- ★ 4名の議員から4件の一般質問
- ★ 定例会 全議案可決
令和5年度一般会計他 予算総額 50億1千万円
- ★ 鉢呂悟議員・藤原幸子議員
全国町村議会議長会より自治功労者表彰を受賞





愛別町は 持続可能な町なのか



はちろ さとし 議員
鉢呂 悟

町長 持続させなければならない

問 愛別町は令和6年に開基130年を迎える。多くの町民がともに支え助け合い知恵・汗・涙などを出し歴史を積み重ねてきた。しかし、今は急激な人口減少など、色々と課題が山積している。

また、北海道新聞令和5年2月22日の記事に2060年に愛別町の人口が748人となる記事が掲載され町民にとって衝撃的な記事となった。このままでは愛別町が消滅するのではないかと不安が増している。
そこで町長に次のことを伺う。

①愛別町過疎地域持続的発展計画の事業が全て実行されることにより愛別町は持続可能な町に成り得るか。

答 矢部町長 各種関連事業を展開することにより、人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを目指しすすめる。

②矢部町長が思い浮かべる50年後の愛別町のイメージは

答 矢部町長 50年後に向け1年1年をしっかりと事業展開していくことが重要と考え自然環境を守りながら地域資源を活用したまちづくりを進めたい。

③これから50年100年後も愛別町が存続すると矢部町長は宣言しますか。

答 矢部町長 あいべつを存続させなければならない。

再質問 財政については北海道公表の令和3年度決算において愛別町はどうなのか調べると、家計で言う借金・地方債残高・債務負担行為残高は総額を人口で割ると一人当たり125万円と、貯金(基金残高)は74万2千円となつている。また借金から貯金を引いた金額は51万円となる。

この数字は管内町村と比較しても良い数字であり、財政は厳しくない状態であると考えますが、町長はこの数字をどのように思つか。

答 矢部町長 大変参考になった。

再質問 平成の市町村大合併において合併された人たちの声をマスコミ報道から耳にすると「合併しなければよかった」等の声が聞こえてくる。愛別町は合併しないとと思うし、歴代の町長は合併はしないと宣言しましたが、町長は宣言しますか。

答 矢部町長 任期中は合併しない。

再質問 北海道農政部農政課発行の北海道農業・農村情報誌「コンファ」2023春号に町内在住の成田真市さんの記事が掲載されている。

トラクターに乗る

父の背中にあこがれて

と題する記事を観たとき、この事が持続可能なまちづくりに必要ではないかと感じた。町が計画する各種計画に父の背中を感じるか。

今町民は夢や希望を求めていると強く感じている。
そこで、町長の夢は何か伺う。

答 矢部町長 「揺りかごから墓場まで」ですべての町民を安心して暮らせるまちにしたい。

トラクターに乗る
父の背中に憧れて

成田農園は愛別町で100年続く農家。現在はアスパラとお米を中心に生産している。5代目の真市さんは、物心ついた時から農家になるのが夢だった。
「祖父は研究熱心な人で、父はいつもトラクターに乗せてくれて。その背中がかっこよくて農家になると決めています」



北海道農業・農村情報誌「コンファ」2023年春号より引用



奥議員の
一般質問の動画はこちら



おく としひろ
奥 俊博 議員

移住定住促進策の一環として 産業振興住宅をペットと暮らせる住宅に

町長

条件付でペットと暮らせる住宅にするよう 条例改正など早急に整備する

問 2月22日の道新朝刊に掲載された上川管内の将来人口推計の記事では愛別町は、今後7年間で500人以上人口が減少することです。私は歴代町長に過疎、高齢化、人口減少問題などについて一般質問で取り上げ早急な対策を求めてきましたが、矢部町長は現町長として、この推計値をどのように捉えられたのか伺います。

私は歴代町長にも申し上げましたが、何らかの有効な施策を講じれば人口減少のスピードを鈍化させることも可能と考えます。人口減少対策や移住定住促進策については、新たな産業創出や雇用の場の確保など一朝一夕にはいかない難問ですが、今、何も手を打たなければ、記事のとおりになることを覚悟しなければなりません。

そこで一人でも人口を増やす策として矢部町長の判断で、今すぐにでもできる案を提案します。それは、現在の産業振興住宅をペットと暮らせる町営住宅にできないかという提案です。現在、町内全ての公営住宅では、ペットを飼うことが禁止されているため、町外の方からペットと一緒に暮らせる公営住宅についての問い合わせがあっても、現状では断らざるを得ない状況を踏まえての提案です。現在入居されている方の了解を得た上での提案ですので、町長の決断を求めます。

答 矢部町長 総合戦略を策定して、人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを目指し進めています。提案のありました産業振興住宅については、現在、産業振興住宅に入居されている方の了解を頂いた上で奥議員からの提案とのことです。ペットの鳴き声をはじめ、動物アレルギーなど、ほかの入居者に迷惑がかかることを想定しております。しかし、今、手を打たなければ人口減少に歯止めをかけることはできませんので、まずは、モデルケースとして、条件付ですが、ペットと暮らせる住宅にするよう、前向きに進めます。

問 いつ頃を予定されているのか伺います。町長もご存じのとおり、1年前から愛山担当の地域おこし協力隊員を募集しています。昨秋、本州の方（本人、奥さん、子どもの3人家族）から応募があり、採用内定後に、現在飼っているペットと一緒に暮らせる適当な住宅が見つからず本人から辞退の申し出があり、更にその後協力隊について問合せがあった方も、またペットを飼っているということで、その方も応募に至らず、もう1年以上も後継隊員がない状況です。内定辞退の方は3人家族ですから、人口が3人増え小さなお子さんがいらっしやいましたから、もしその方が定住ということに



愛山産業振興住宅

なつていればと考えると非常に残念な結果です。新年度早速、産業振興住宅をペットと暮らせる住宅にしていたらきたいと思えます。

答 矢部町長 今、奥議員からそういう事例があったことも紹介していただきました。今後、条例改正など早急に整備して、即対応できるようにしてまいります。

問 これをPRするための情報発信をどのようにお考えなのかを伺います。

答 矢部町長 決めたからには即発信しなければならぬと思います。情報等はホームページや募集要項の中でも何らかの形で掲載していきたいと思っています。



星議員の
一般質問の動画はこちら

一般質問

愛別町には移住、定住、起業、子育ての 一貫した支援政策が必要ではないか



はじめ 星 議員

住むなら愛別、働くなら愛別、子育てするなら愛別と
言っていただけのようなPRを検討する

町長

問 第11次振興計画は、子供の笑顔溢れる恵みの大地愛別が基本テーマとされており、向こう10年間のまちづくりの方向性と取り組みを定めたものであるが、現在まで計画の方針に沿った町政が執行されてきたかを考えると疑問が残る。今の愛別町に特に必要なものは、移住、定住、起業、子育ての一貫したストーリーの見える支援だと私は考える。道内でも特に下川町が、移住、定住から起業までの手厚い支援を行っている理由、移住する理由、住み続ける理由があるまちづくりを誰もが見てわかるレベルで実践している自治体だと言える。近隣では、当麻町の起業家への支援も手厚く、支援政策からその町が何をしたいのか、何を強みとしているのか、明確にわかる町が注目を集め、盛り上がりを見せている。愛別町も「住む、働く、家庭を築く」までのストーリーを明確に示せるだけの一貫性を持った政策を展開させ、愛別町が今何をしたいのかを明確にPRしていくべきである。町長には、住むなら愛別、働くなら愛別、子育てするなら愛別と、町民が自信をもって言えるような政策の展開をしていただきたい。以上を踏まえ、町長就任から2年間で経過した矢部町長が、現在持たれているまちづくりへのビジョンについて伺う。

答 **矢部町長** 移住定住・起業・子育ての一貫した支援政策については、第11次振興計画に基づき、各種事業を展開しており、近隣町と比較しても充実した事業内容と支援政策を展開している。しかし、近隣町と同等の支援政策を展

開しても旭川に隣接していないという当町の立地条件として不利な面や、移住定住のための受皿となる働く場所の確保などに課題を抱えており、質問にある一貫性という部分では、残念ながらそのストーリーを明確にPRできていない現状である。現在は、第11次振興計画に基づき、地域おこし協力隊の起業による地域定着の促進や、空き家、店舗改修等の助成による移住定住、スクールランチの助成による移住定住、スクールランチ給食費、認定こども園保育料の無償化による子育て支援など、各種事業展開を進めることで、支援政策の成果が現れてきている。また、SNSの利用をはじめ、情報発信にも力を入れており、今後は、住むなら愛別、働くなら愛別、子育てするなら愛別と言っていただけのようなPRを検討してまいります。

再質問 子育てに関係する政策は近隣との差が少なくなってきた。起業等の政策で、1歩先を行くような政策が必要であり、それをPRしないとイケない。現在は一貫した広報戦略はとれているのか。バズるような戦略を計画して考えるべきではないか。

答 **矢部町長** 協力隊の皆さんや、担当の者が企画いろいろ展開している。しかし、そこまで大きな事業展開をしていない町という理由もあり、なかなかそこまでいっていないのが現状と私も認識している。協力隊、職員がまず増えてきてくれて情報等をうまく使っていただけのように、これからも担当には申しつけていく。

再質問 4年間、町議を経験した中で、移住定住に関する政策が前進した印象を持った記憶がない。外から見ている人達には更に伝わっていないと予測できる。住む、働く、子育てする、どれも欠けても駄目である。愛別町への移住定住をトータルでプランニングして広報活動の活用までを行う組織を役場内部で作ってはどうか。

答 **矢部町長** 政策会議はもちろん、職員が外に出て得た情報も参考に。私もいろんな会議に参加して、皆さんとお会いしているんなことを吸収しながら、まちづくりに役立つものは、全て採用させていただくような施策をとっていきたい。

再質問 町長の残りの任期2年で、町長自身がリーダーシップをもって、先進自治体の取り組みを参考に、愛別町独自の政策を1つでも2つでもやって頂きたい。

答 **矢部町長** 外の町のノウハウを取り入れながら、愛別町らしい、しっかりと根が着いたような施策も行い、少し冒險しながらやっていく。まだやり残したことはあり、小中一貫校、タブレット等の利用でのペーパーレス化、スマート農業という新しい農業のかたちへの支援等やりたい事はまだある。聞く姿勢を失わず、町民からの要望に応えられるように体制を整えることで、この町も前進していくと思っている。



横井議員の
一般質問の動画はこちら

一般質問



よこい 横井 ひとし 均 議員

「固定資産税に関する矢部福二郎町長の増税方針に反対する決議」を矢部福二郎町長は議会軽視（立法機関）しているのではないか

町長 増税反対決議が可決されたので一切撤回（取りやめ）する

問 令和4年12月15日第4回定例会で、「本議会は、こうした矢部福二郎町長の姿勢に対して、町民の不利益及び更なる不安や混乱を避けるため、町長不信任案の提出も視野に入れ、大義の無い固定資産税の増税方針に強く反対する。」反対決議案を、中山議長を除く8名の全議員が賛成し可決しました。

しかし、反対決議案が可決にもかかわらず12月27日付けの町長名による町民への配布文書は令和5年度からの課税は取止めるが、令和5年度に現地調査を行い令和6年度に課税（増税）すると解釈される内容となっており、町民に課税理由根拠も説明なく増税を貫く姿勢を示しました。矢部福二郎町長は立法機関（立法的機能）である議会の反対決議軽視ではないか。選挙公約にもない固定資産税に関する増税は大義がなく、増税は取止めるべきであり、町民に痛みを求めるといふなら、次期町長選挙で固定資産税の増税を大義政策として争い、有権者の判断を仰ぐべきと考えますが、町長の見解を伺います。

答 矢部町長 今回の決議に関しましては、先の全員協議会で説明させていただきましたが、議会への説明がいたらずに申し訳なく思っています。私の思いとしては増税が大義ではなく、不均衡を是正するために家屋の現況を把握するための調査をさせていただきたいと考えております。

問 全員協議会はいくまで本議会の事前説明の場で、そこでは質疑応答できない。それは本会議が形骸化するか

答 矢部町長 私の質問は、「固定資産税に関する矢部福二郎町長の増税方針に反対決議」を矢部福二郎町長は議会軽視（立法機関）しているのではないか。立法機能は、町にとつて住民からの信託を受けた町政の基本（条例・予算等）を決める重要な機能を持った議会です。増税を取りやめるべきである。

答 矢部町長 増税反対決議が可決されたので一切撤回（取りやめ）する。

愛 税 税 第 1 2 8 号
令 和 4 年 1 2 月 2 7 日

町民の皆様へ

愛別町長 矢部 福二郎

固定資産課税台帳に載っていない家屋の調査について

師走の候 町民の皆様におかれましては、益々ご清祥とお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また日頃から、町税務行政に特段なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、固定資産課税台帳に載っていない家屋の調査については、令和4年1月及び4月の全戸配布チラシと7月以降に所有者宛てに送付しているチラシにて調査内容や対象となる家屋について説明をし、令和5年度から課税をすとお伝えしておりましたが、令和5年度からの課税を取りやめすることといたしました。

町民の皆様にご不安を与え、混乱を招いてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。

今後につきましては、令和3年度に調査した航空写真や個別の建物の資料をもとに調査をすすめたうえで、令和5年の春以降に固定資産課税台帳に登載する家屋かどうかについて現地調査を行う予定でございますので、皆様のご理解とご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

(税務住民課税務係)

令和4年12月27日の全戸配布文書

町議会審議結果

◇第1回定例会(1日目)		議決年月日 令和5年3月6日
議案番号	件名	結果
議案第3号	愛別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	愛別町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第5号	愛別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第6号	愛別町認定こども園条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	愛別町就学前子どもの教育・保育等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	愛別町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	愛別町営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	町道路線の認定について	原案可決
議案第11号	愛別町特定環境保全公共下水道愛別終末処理場の建設工事委託に関する協定の締結についての議決の一部変更について	原案可決
議案第12号	令和4年度愛別町一般会計補正予算(第11号)	原案可決
議案第13号	令和4年度愛別町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第14号	令和4年度愛別町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第15号	令和4年度愛別町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第16号	令和4年度愛別町介護保険事業特別会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第17号	令和4年度愛別町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第18号	令和4年度愛別町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決

◇第1回定例会(2日目)		議決年月日 令和5年3月16日
議案番号	件名	結果
議案第1号	愛別町個人情報保護法施行条例の制定について	総付託原案可決
議案第2号	愛別町個人情報保護審査会条例の制定について	総付託原案可決
議案第19号	令和5年度愛別町一般会計補正予算	予付託原案可決
議案第20号	令和5年度愛別町国民健康保険特別会計補正予算	予付託原案可決
議案第21号	令和5年度愛別町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算	予付託原案可決
議案第22号	令和5年度愛別町後期高齢者医療特別会計補正予算	予付託原案可決
議案第23号	令和5年度愛別町介護保険事業特別会計補正予算	予付託原案可決
議案第24号	令和5年度愛別町公共下水道事業特別会計補正予算	予付託原案可決
議案第25号	令和5年度愛別町簡易水道事業特別会計補正予算	予付託原案可決
議案第26号	令和4年度愛別町一般会計補正予算(第12号)	原案可決

第1回定例会

発議第1号	愛別町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決
発議第2号	愛別町議会の所管に係る愛別町個人情報保護条例施行規則を廃止する規則	原案可決
発議第3号	愛別町議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
発議第4号	旭川空港の機能充実と新千歳空港の代替空港としての活用を求める意見書について	原案可決
発議第5号	食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める意見書について	原案可決
議案第18号	令和4年度愛別町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決

第1回定例会

◆一般会計

歳入歳出それぞれ6,113万1千円を減額し、総額34億9,016万4千円とする。

主な歳入

- 町たばこ税 (売り上げ本数増加) 164万4千円増
- 地方交付税 (普通交付税交付額確定、一般財源の財源調整) 3,661万9千円増
- 国庫補助金 (出産・子育て応援交付金) 215万9千円計上
- 道路橋梁費交付金 (建設機械) 3,397万1千円減
- (公共施設長寿命化) 631万9千円減
- 住宅費交付金(公営住宅等) 160万7千円減
- 農林水産業費道補助金 (機構集積協力金交付事業交付金) 301万1千円減
- (農地最適化推進交付金) 210万9千円増
- 不動産売却収入 (町有林伐採等その他売却収入) 176万5千円増
- ふるさと応援寄付金 (ふるさと納税寄付金減収見込み) 2,000万円減

○国営緊急農地再編整備事業
支障施設移設補償金
(対象施設補償工事減) 200万1千円減

主な歳出

- 公共施設等整備基金積立金 (一般財源余剰分) 3,560万4千円増
- 地域おこし協力隊活用事業 (新規協力隊採用予定人員減) 702万7千円減
- (協力隊起業等支援補助金) 200万円減
- 集落支援員活用事業 116万円減
- ふるさと納税実施事業 (返礼品に係る報償費) 220万円減
- (寄付サイト取扱数減による委託料) 180万円減
- (有名サイト優先広告 抽選もれによる広告料) 206万3千円減
- ふるさと創生基金積立金 (ふるさと応援寄付金 減収見込みのため) 2,000万円減
- 軽度生活援助事業補助金 (除雪サービス決算見込増のため) 108万5千円増
- 高齢者生活福祉センター燃料費 (燃料費高騰のため) 133万4千円増
- 出産・子育て応援事業 *国の補正予算成立に伴い、妊婦期か

ら出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施するためのシステム改修委託費、応援給付金等 264万6千円計上

産業振興基金積立金 (一般財源余剰分)

- 5,000万円増
- 特用林産物生産施設等補改修 特別対策事業補助金 (決算額確定) 401万円減
- 森林路網整備支援事業補助金 (事業計画見直し) 164万6千円皆減
- 商店街活性化支援事業補助金 (事業要望なし) 150万円皆減
- 建設機械整備事業 (交付金内示額減等) 除雪ドーザ購入費 1,072万2千円減
- 除雪トラック購入費 4,649万2千円減
- 公共施設長寿命化修繕工事費 506万円減
- 認定子ども園管理経費 (燃料費高騰に伴う燃料費) 105万9千円増
- 青少年指導者育成事業補助金等 (コロナ禍等で 少年愛のまち交流事業未実施) 136万8千円減

意見書

◆旭川空港の機能充実と新千歳空港の代替空港としての活用を求める意見書について

・北海道の玄関口である旭川空港は国内有数の積雪地に設置され、万全の除雪体制などから高い就航率を誇る空港である。今後の更なる旭川空港の機能充実と、新千歳空港の代替空港としての積極的な活用に係る必要な働きかけを関係機関に対して行う事を強く要望する。

◆食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める意見書について

・国において、農業者が将来に渡って安心して営農できるよう、世界の農業被害に鑑み、食料安全保障政策を強化する事、厳しい情勢にさらされている国内酪農・畜産経営に対して、消費拡大・需要創出を図り、生産資材高騰対策強化・農畜産物の適正な価格形成を可能となるよう環境を整備することを強く要望する。



予算審査特別委員会

令和5年度予算審査のため、予算審査特別委員会が設置されました。委員長に久米啓一議員、副委員長に阿木潔議員が指名され、議長を除く8名で会計の予算審査が行われました。各委員からの質疑があり、一部を要約して掲載します。(議席番号順)

星委員▼ 昨年、スマート農業の推進事業で、利用者が少なかったと記憶している。補助の割合が足りず、利用できない方がいるのではないかと。補助率をあげて、利用者を増やす事が、生産者にとつての助けになるのではないかとぜひ検討して頂きたい。(要望)

星委員▼ 小中一貫教育調査研究事業に予算が組まれているが、小中一貫事業についての調査、研究の進捗状況や、視察に行く場所などを伺う。

谷田教育次長 教育ビジョン委員会で、将来の校舎のあるべき姿という部分で、小中一貫教育を行う際には、校舎を統合して行うことが望ましいというところがあった。その部分を柱に、令和5年度から、上川管内はもちろん、管外の校舎を見ながら、小中の一貫化も含めて検討を始めて行くことにしている。近くでは比布、空知管内では雨

竜町、道東の方に行くのと愛別の規模に似た義務教育学校もある。それらの校舎を見に行くための予算付けをしている。

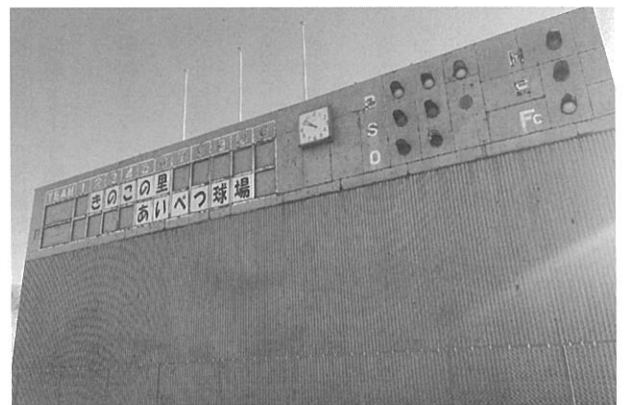
阿木委員▼ 老人福祉センターの老朽化が進んでおり今後施設をどうして行くのか、町の考えは。

長谷川保健福祉課長 各単位老人クラブ会長の方と話し合いの場を設けさせて頂きました。地域の方と顔を合わせる機会が大事であるとの声があり、代替施設も含めて検討していきたい。

阿木委員▼ あいべつ球場のバックスクリーンのスコアボードがかなりの老朽化が進んでいるので修理は出来ないか。少年野球や北海道野球連盟がリーグ戦で使用しているので、補正予算案を組んで改修すべきである。

矢部町長 雪中ソフトボールの時に私もスコアボードを見ており結構傷んでおります。担当で調査させて出来るものなら5年度に何とかしてみたい、検討いたします。

林委員▼ 今シーズンの農業も始まるが、飼料、肥料、電気料、ガス等が全部値上がりしている。なぜ産業を守るための対策を今回の予算に入れていな



老朽化が進む愛別球場のバックスクリーン

いのかを伺う。北海道新聞に2060年には、愛別町も人口が700人台になるという予想が出ている。産業が駄目になると人はいなくなってしまう。そして今は対策をおこなわなければならない大切なポイントであると私は思う。

金子副町長 新年度予算には具体的な事は盛り込んでいない。国や道の動向を注視しながら、不足の部分をどのように補うのかを考えている段階であるので、今回の新年度予算には、計上できなかった。農協からも相談を受けており、町としても協議を重ねており、今後の補正予算として出す考え。愛別の産業を守るやり方を皆さんと考え

ていきたい。

林委員▼ 小学校、中学校のトイレをはじめ、消防番屋、愛別球場等に和式トイレが未だに設置されており、今の時代にそぐわないのではないか。世間的に小学校のトイレは汚くて臭く、学校で排泄ができないという問題も多くあると聞く。せめて冷たい便座に座らなくていい程度の現代に合ったものの導入を検討してはどうか。

馬場教育長 現状を把握し、町長部局と相談しながら詰めていきたい。

横井委員▼ 高齢者等交通費助成券が非課税世帯に見直しされ、前年予算14万5千円減額です。非課税世帯から助成券を増やしてほしい要望があります。また、公共交通機関（愛別ハイヤー）の維持もあり是非検討を。

長谷川保健福祉課長 助成券の配布枚数、地区によって異なる配布枚数についても検討したい。

横井委員▼ 昨年の決算委員会で学童保育の場所を認定ことも園で出来ないか質問したが、検討されたか。

森川幼児センター長 教室等が確保できれば実施できる。

鉢呂委員▼ 愛別町森林整備計画に記載している愛別町森林組合の組織体制の育成と林業機械化の推進の為に、高性能機械を行政で購入することが林業の再構築に必要なのではないかと。

矢部町長 森林組合と協議し林業振興に努める。

鉢呂委員▼ 愛別ファミリースキー場の子どもの安心安全の為に駐車場の整備が必要ではないか。

馬場教育長 雪解け後に現地を視察し検討する。

藤原委員▼ 地域福祉の担い手である民生委員の改選が12月に行われ、欠員を生じることもなく、3年任期で14名の方が交代されている。スムーズな交代の理由は。

長谷川保健福祉課長 公区長に推薦の相談や地域の役員に直接お声かけさせていただくケースもあります。

藤原委員▼ 学童保育の登録者数が40名と聞いている。現在、小学校の空き教室では、狭いのではないかと。何か対策は考えているのか。

策は考えているのか。

河合教育委員会主幹 20数名が日々利用されている。コロナ禍で食事や学習をする時は間隔を空けて座っており、ちよつとスペース的に厳しいという話はきいている。

谷田教育委員会次長 例えば隣にあるプレイルームや余剰の教室を使うことで、基準の児童1人当たり1・65㎡を確保できると考えている。



小学校の学童保育の教室

00万円に到達させる何か案があるのか伺う。

武田総務企画課長 地域おこし協力隊を専属に募集して、ふるさと納税の返礼品の開発を行うとともに、有名サイト広告への広告料も予算計上しており、なんとか5,000万円確保したいと考えている。

奥委員▼ 美深高等養護学校あいべつ校の新入生が6人（定員は16人）ということだが、あいべつ校は多くの関係者の協力により、やつと誘致が実現して開校された学校である。町として何らかの支援をすべきであり、次年度の募集要項に間に合うようスピード感をもって支援策を講じなければ間に合わないと思う。

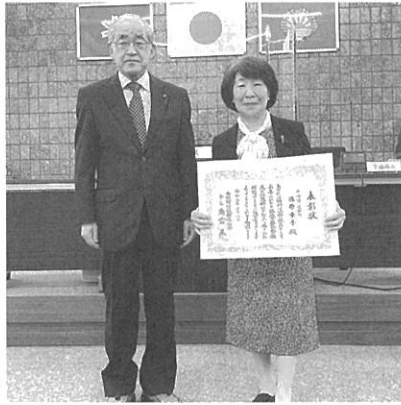
矢部町長 なるべく早く、入学者が増えるような対策が少しでも取れるように、今後、美深（本校）とも相談し次年度に向けていろいろな対応を考えていく。

以上、慎重審議を重ねた結果、予算特別委員会において7会計は全て可決すべきものと決定し、本会議において予算審査特別委員長の報告の通り可決した。

奥委員▼ 昨日の令和4年度補正予算で、ふるさと納税2,000万円が減額補正されたが、新年度予算で再度5,000万円計上されているが、5,000

令和4年度町
全国町村議会議長会
自治功労者表彰

3月6日、定例会初日の本会議開会前の議場において、全国町村議会議長会より27年以上在職の藤原幸子議員及び、15年以上在職の鉢呂悟議員が自治功労者として表彰状が授与されましたので、中山英一議長からそれぞれ伝達されました。



藤原 幸子 議員



鉢呂 悟 議員

議会事務局長が変わりました

退任のあいさつ

齋藤 完司



この度、3月31日をもって、議会事務局長を退任いたしました。

在職中は、公私にわたり議員をはじめ関係各位、並びに町民のみなさまには格別のご厚情とご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

この間、円滑な議会運営と行政サービスの向上に微力ながら務めさせて頂きました。

今後は、一町民として愛別町の発展のために意を尽くして参りますので変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

二元代表制の一翼を担う住民の代表機関である議会の皆さまの益々のご活躍をご祈念申し上げます。大変お世話になりました。

就任のあいさつ

谷田 道明



この度の人事異動で、議会事務局長を拝命いたしました。

議会事務局への異動は初めてのことで、右も左も分からない状況ではありますが、日々新鮮な気持ちでおります。そのような事から、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、

議会の役割を認識しながら、議会運営のサポートができるように、日々研鑽してまいります。もとより微力ではありますが、職責を全うできるように努力してまいりますので、何卒よろしく

お願いいたします。



議会のあしあと

- 1月
 - 24日 全員協議会
 - 25日 上川中部福祉事務組合議会
- 2月
 - 2日 全員協議会
 - 9日 全員協議会
 - 27日 全員協議会
 - 議会運営委員会
 - 大雪浄化組合議会
 - 塵芥処理組合議会
 - 上川中部福祉事務組合議会
- 3月
 - 6日 全員協議会
 - 第1回 定例会（1日目）
 - 7日 予算審査特別委員会（1日目）
 - 8日 予算審査特別委員会（2日目）
 - 全員協議会
 - 総務福祉常任委員会
 - 全員協議会
 - 第1回 定例会（2日目）
 - 議員会総会
 - 大雪消防組合議会（美瑛町）
 - 議会広報特別委員会
 - 議会広報特別委員会
 - タブレット導入推進研究会
- 4月
 - 5日 議会広報特別委員会
 - 11日 議会広報特別委員会
 - 14日 議会広報特別委員会